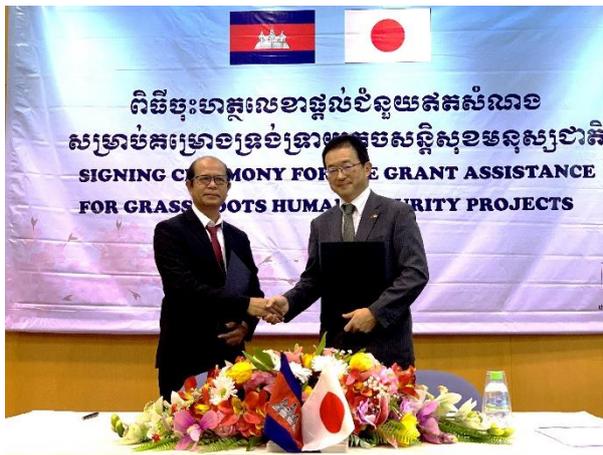


令和元年度草の根人間の安全保障無償資金協力 署名式典

令和2年1月8日（水）、令和元年度草の根・人間の安全保障無償資金協力に係る署名式典を当館多目的ホールにて執り行いました。同署名式では、三上正裕特命全権大使がそれぞれ、パイリン州公共事業運輸局のアット・サラット局長との間で「パイリン州パイリン市オータワオ地区道路改修計画」（供与限度額181,560米ドル）について、カンダール州ルビア・アエム保健行政区のウー・チャンダラムニー局長との間で「カンダール州タッククレアン保健センター入院棟建設計画」（供与限度額90,850米ドル）について、タック・サート1001のフレデリック・デュボワ代表との間で「北西部2州7地区における浄水施設建設計画」（供与限度額90,814米ドル）についての贈与契約書に署名を行いました。



パイリン州公共事業運輸局が実施する案件では、同州パイリン市オータワオ地区の地域住民の手で仮設された道路をラテライト道路（6,300m）に改修し、またボックスカルバート3基とパイプカルバート4基を建設します。案件対象となる道路は、雨期には道路が冠水し、通行が非常に困難になるとともに、乾期においても低地にぬ

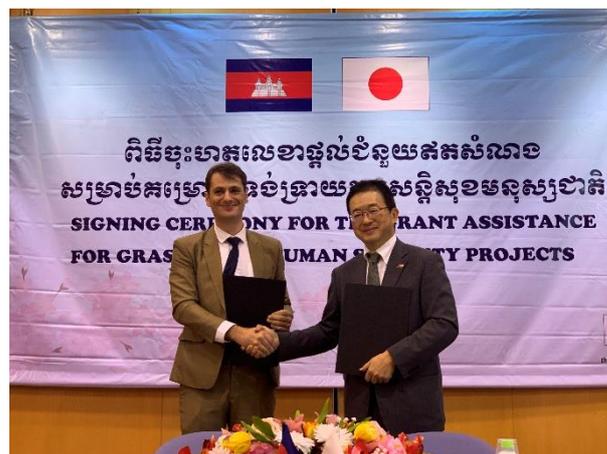
かるみが残るなど、年間を通じて通行に支障があります。本案件の実施により、地域住民約7,000人が安全に市場や学校、保健センター等へアクセスできるようになるとともに、農産物の輸送活性化による貧困削減等の効果が期待されます。

カンダール州ルビア・アエム保健行政区が実施する案件では、同州タッククレアン保健センターに新たに入院棟を建設します。現在同保健センターは、成人及び小児入院室、産後待機室が確保されておらず、入院が必要とされる患者、産婦及び新生児が入院するスペースが圧倒



的に不足しています。現在は仕切り等が全くないオープンスペースに入院患者、産婦及び新生児を収容しており、院内感染のリスクが高まっています。本案件により、新たに入院棟が建設されることで、同保健センターにて治療を受ける年間約600名の入院患者が適切な医療環境下での入院治療を受けることが可能になることが期待されます。

タック・サート1001が実施する案件では、バンテアイミエンチェイ州及びオッドーミエンチェイ州内7地区のそれぞれに浄水施設を建設します。いずれも郊外に位置する案件対象の7地区では、安全な水を手続きすることが難しく、雨水や池の水の利用による下痢等の水因性疾患が住民の間で生じています。本事業を通じて、2州7地区の合計3,465世帯の住民が安全な水へのアクセスが可能になると見込まれ、住民の水衛生環境の向上や水因性疾患の減少が期待されます。



式典では、三上大使がスピーチを行い、今回の支援が対象地域の住民に直接裨益し、カンボジアと日本の更なる友好促進につながることを願うと述べました。続いて各団体の代表者がスピーチを行い、日本国民及び政府への感謝の意を表明するとともに、着実に事業を推進していくことを約束しました。